

# マスコミことばの教材化

——日本語のみだれに関する一考察——

久野保彰

はじめに

昭和五十七年度より、新学習指導要領のもとに国語教育は一大変革を迎えようとしている。

もとより、私は国語教育とは、「ことばと文字の教育」であるということ念頭に、二年間の教職に携わってきた。以前から、国語教育は『文学教育』か、『言語教育』かの論争は絶えなかつたわけであるが、新学習指導要領の国語科の目標によれば、「国語を的確に理解し適切に表現する能力を身につけさせるとともに、言語文化に対する関心を深め、言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。」とあり、国語科は、『言語』を教育する教科であることが、いっそう明確になってきたように感じている。

なぜ、国語科の基礎をなす『言語』があえて高等学校の指導目標に取り立てて掲げられたのかは、高校進学率が90数パーセントに達し、低学力生徒の高校入学後の教育のむずかしさが論議され始めていることに起因しているようである。実際、現代国語においては、読解力以前の問題として、漢字力や語彙力などの基礎力のなさが目立ち、この問題を克服しない限り、詩も小説も評論も何も教えられないという学校の実情も数多く聞いている。本校（昭和五十一年開

校のいわゆる新設校である。）の生徒も基礎力に乏しい者が多く見られ、私自身もこの問題を痛切に感じている。同時に、こうした生徒たちに対し、いかに国語に対する学習意欲をかき立たせ、授業に目を向けさせるかということは、われわれ授業者の課題であり、当然、工夫・研究を要する問題である。

一方、日本語の現状に目を移してみると、外来語・外国語、流行語の氾濫や、不必要な省略表現、方言の悪用など、安易に正しい日本語を崩壊していくような風潮があるように思われる。この現状を作り出し、拍車をかけているのが、テレビ・ラジオ・雑誌等の『マスコミ』と呼ばれるものにあることも、多くの人々が指摘している。本稿は、以上のような観点から、現代国語における『ことばの単元』をどのように扱い、どのように活気のある授業をしていくか、という課題について自分なりに考えたこと、また、どう実践に結びつけていったかを述べたものである。

## 1 マスコミことば

今日、マスコミがわれわれ日本人に多大の影響を与えていることは、避けられない事実になってきている。コマースャルソングが大ヒットし、数々の音楽賞を取ったり、コマースャルのコメントやタ

レントの話すことばが、子どもたちの間、いや大人たちの間でも大流行するといったことからこれは明らかである。

こうした現象が、日本語の伝統を継承していくものであれば問題はないのであるが、本来の正しい日本語の崩壊やおびただしい外来語・外国語の氾濫につながっていくから問題なのである。

南博氏は、この問題を取り上げられ、特にマスコミが日本語に對し、悪い影響を与えていると考えられる点を次のように指摘されている。

八『日本語2・マスコミと日本語』（岩波書店）▽

- 。 一部のコマージュナルでのドギツイ表現。
- 。 一部の娯楽番組での芸能人や司会者のオーバーな表現。
- 。 流行語を広める。
- 。 放送で使うことばにより一般の人々の日常の表現化が画一化される。
- 。 放送での誤用は正しいものとして受けとられる。

また、ことばの乱れの実態として、

- 。 敬語のあやまり
- 。 敬語の過剰
- 。 敬語の不足
- 。 待遇表現のみだれ
- 。 流行語、省略語、外来語などの乱用をあげられている。

確かに、マスコミにのったことばは正しいものだど錯覚する風潮はあるように思われる。しかし、ニュースを報道するアナウンサーのことはを注意して聞いていると、日本語の乱れに少なからず遭遇する。たとえば、次のようなことを耳にしたことがある。

。 原爆ムードは、今もなお戦争の傷あとを残し……（原爆ドームの誤り）

。 台風の近づいた漁港では、漁民が漁に出られず、てもちぶたさの表情で……

右の例は、ある日のニュースで聞いた、アナウンサーの原稿の読み誤りと思われるものであり、瞬間的なもので気にとめないこともあるが、スポーツ等の実況放送では、アナウンサーの勉強不足が露呈され、批難を浴びる場合もある。昨年のある民放テレビのスポーツ実況放送で、体操の具志堅選手が、『具志堅用高』になったり、水泳では、「あと一メートル、二メートル、三メートル、ゴールイン」という実況放送があったそうである。笑い話で済むうちならいいが、真剣に考えなければならぬ実情と言ってよからう。ちなみに、先の例で、「てもちぶたさ」が正しいのか、「てもちぶたさ」が正しいのか、と生徒に聞いたところ、クラスの半分以上が、「てもちぶたさ」と答えたという事実もあげておきたい。

2 流行語の氾濫

マスコミことばが悪影響を及ぼすもの一つにもあげられていた

ように、流行語の問題も考えてみたい。

生徒に、「どうして流行語を使うのか」と尋ねたところ、「おもしろいから」という答えが単刀直入に返ってくる。また、「知らないと話に参加できない」「知らないとバカにされる。」ということも原因らしい。ひとことに「流行語」といってもさまざまである。マスコミに限らず、誰かの言ったことが、くちコミによって広がり、小さな集団の中で流行することもあるようである。また、最近では流行語を作り出すことを目的とする雑誌も発刊されていると聞いている。

そこで、南博氏が『日本語2・マスコミと日本語』（岩波書店）で分類されたものをもとに、私なりに次のように流行語を分類してみた。

#### A 純日本語型流行語

つまり、日本語として文法的に誤りはないが、象徴的に用いられたり、品格が落ちるものをさす。一過性のものが多く、方言の類も含む。

##### (1) 印象型

それだけみれば、何の変哲もないが、テレビの画面などとマッチして流行を呼ぶもの。映画の宣伝文句等に多い。

- わんぱくでもない、たくましく育ってほしい。(ハムの宣伝)
- 三分間待つのだぞ。(即席カレーの宣伝)
- 記憶にございません。(国会中継)
- 決して一人では見ないでください。(映画の宣伝)

• 母さん、僕のあの帽子どこへいったんでしょね。(映画の宣伝)

• 宇宙ではあなたの声は聞こえない。(映画の宣伝)

##### (2) 低俗・下品型

これも映画等の宣伝文句に多く見られ、特に汚ない日本語の部類に属するもの。

- 狼は生きろ／豚は死ぬ(映画の宣伝)
- あんた、あの娘のなんなのさ(歌謡曲の歌詞)
- ばかにしないでよ(歌謡曲の歌詞)
- ちよつとだけよ(テレビのバラエティショー)

##### (3) 方言型

方言のおもしろさを取り上げたもので、一種のどかさをねらったもの。

- ちかりたびい(薬品の宣伝)
- がんばんべえ(薬品の宣伝)
- 野菜をたんと食べんとだちゃんよ。(野菜ジュースの宣伝)

#### B 非日本語型流行語

従来の日本語にはなかったもので、擬音・擬声語、新造語の類をさす。

##### (1) ゲジャレ型

最近では数は少ない。古いところでは、

・ 何である、アイデアル。(洋傘の宣伝)

・ 香港焼きそば、ホンコンにうまいよ。(即席焼きそばの宣伝)

最近では、

・ なんちゅうか、本中華。(即席ラーメンの宣伝)

(松坂慶子の歌とも結びついて、「なんちゅうか、本中華、水中花」というのもあるそうである。)

### (2) 擬音・擬声語型

漫画に源を流すものが多く、動作とマッチしてはやるものが多い。

・ カククン                      ・ クエックエツ

・ ガククン                      ・ チョンワチョンワ

・ ギクツ                         ・ ワーオ

・ ビローン                      ・ ドバーツ

・ シェー                        ・ ドヒヤツ

・ ギョツ                         ・ ヒエーツ

### (3) 特殊接頭語・特殊接尾語型

これも漫画に由来するものが多く、青少年の間で使われるものが多い。

・ ド根性                        ・ ドッチラケ

・ ド素人                         ・ ドブス

・ ドアホ                         ・ ドバカ

右はいずれも強意を表す接頭語。

・ くてさあ                      ・ くなのだ

・ くてよう                      ・ くなのら

・ くてしゃん                    ・ くてがんす

・ くてすら                        ・ くてやんけ

・ くてざんす                    ・ くてよねんのねん

右の例は、接尾語の例で、方言型、低俗・下品型と区別のつきにくいものもある。

### (4) 新造語型

若者が造り出した新しいことばの類。解釈については、『現代用語の基礎知識・一九八〇年版・若者用語の解説』(堀内克明)を参考にした。

・ フィバる (熱中する)

・ ミスる (失敗する)

・ ドジる (どじを踏む、失敗する)

・ 激る (一生懸命がんばる)

・ ナウい (今風だ)

・ じょうずい (上手なうまい)

人の名前を動詞化したものも流行している。特に、プロ野球の江川問題から生まれたものが最新流行のようである。

・ エガワる

①ぐずる、勝手なまねをする

②鼻血を出す

③球をよける

④年上の人と結婚する

※このことばは、一年間で右のように意味が変遷した。

- コバヤシる (自分の悲劇を売り物にして人気を高める)
  - カネコる (こり押しをする)
  - オツる (ころっと態度を変える)
  - サダハる (年のわりにがんばる)
- などである。また、ややクイズめいた、

- 犬の卒倒 (ワン・パターン)
  - 猫のサツカー (ニャー蹴るIIにやける)
  - 馬のカミさん (ヒン家内II品がない)
  - 話がおじや (話がごちゃごちゃ)
  - 話がセロリ (話の筋が通っている)
  - 話がれんこん (話がつつぬけ)
- というようなことばも出てきた。

以上のように、単に流行語と言っても、多種多様をきわめているわけであるが、私が特に注意して考えてみなければいけないと思うのは、やはり「非日本語型」の流行語の中の「擬音・擬声語型」「新造語型」の流行語である。辞書に載っていないことばが、これほどあふれてくると、近い将来、われわれの使っている日常語が、死語になってしまわないかという恐怖すら感じる。流行語は、一過性のものにすぎないと言えばそれまでであるが、そのうちのいくつかが、辞書に掲載されるまでに熟し、一般化してきているのも事実である。日本人の一人として、また国語教師の一人として、深く考え込んでしまう問題である。

### 3 外来語・外国語の氾濫

流行語とともに、もうひとつ目ざわり、耳ざわりなものに、必要以上の外来語や外国語の導入がある。戦後、日本もアメリカナイズされて、ことごとく横文字が目につくが、全く意味もわからず、俗にいうフイーリングで使われるようになったような気がする。その顕著な例が、いわゆる歌謡曲のタイトルである。昨年のヒット曲を例にとってみても、

- チャンピオン
- カリフォルニアコネクション
- ヤングマン
- ヒーロー
- ガンダール
- カメレオン・アーミー

など、日本の曲か外国の曲か訳のわからないものがきわめて多くなってきた。この傾向は、ニューミュージックと呼ばれるものの中でも、ロックとかポップスと呼ばれるジャンルの曲に多いのである。これは、曲のイメージはもとより、外国へのあこがれをもつ青少年の感覚に訴える一つの商法の表れだと思われる。

ちなみに、外国語の部分日本語に置き換えてみても、様にならなかつたり意味を全くなさない場合も多い。

ビューティフルネーム (美しい名前)  
ジパング (日本国)

OHノギャル(ようノ ねえちゃん)

アメリカンフィーリング(合衆国の感情)

モンキーマジック(お猿の手品?)

私のハートはストップ・プモーション

(心) (分解写真)

虹とスニーカーの頃

(運動靴)

セクシャルバイオレットNO1

(性的すみれ色第一位?)

右に掲げた例と、次に掲げる例とを見比べてみるとよくわかると思うが、最近では、タイトルのつけ方で曲のイメージを強調する風潮があり、ひよっとすると、外国語の感覚と日本人にしかわからない日本語の持つ深い意味とをうまく使い分けているのかもしれない。次に掲げる例は、演歌と呼ばれるジャンルの曲のタイトルを、外国語に置き換えてみたものである。

北国の春(北国のスプリング)

おもいで酒(おもいでウィスキー)

岸壁の母(岸壁のママ)

おやじの海(パパの海)

右の例の中の「春」「酒」「母」「おやじ」は、単純には外国語に置き換えられない、日本語独特のことばであり、日本人にしかわか

らない味わいのあることばではないだろうか。頑強に外国語をあまり受け入れようとはしないジャンルは、演歌のほかにフォークがある。フォークソングを和訳すれば民謡であり、演歌に通じるものがあると言われるのも、このへんに原因があるように思われる。

#### 4 マスコミことばの教材化

今まで述べてきたとおり、マスコミから生まれたことばが、高校生を中心とする若年層に多大な影響を及ぼしていることは明白であろう。この現象が活字離れの傾向に結びつき、「教科書なんか読めるか」という論理が成り立っているようである。

校内で耳にする生徒の会話の中にも、次々とわれわれに理解できないことばがとびかっている。そこで、本校でもこうした現象が実際にみられるかもしれないと思い、一年生の現代国語がちょうど「ことばの単元」にはいるのを機会に、「今、校内ではやっていることばは?」というアンケート調査をおこなってみた。対象は、私が現代国語を教えている一年生二クラス(男子五十一名、女子三十九名)である。その上位十位は次のとおりであった。

#### 1 どっと○○○○

(強意の副詞らしく、「どっとと疲れる」「どっとと怠慢」などと使う。「どっと」だけであとを省略する用法もある。)

#### 2 シー

(しらけた時に発するヤジの一種。シラケル→シラー→シーと、省略に次ぐ省略の結果生まれたらしい。これを多人数で発

することを「シーシーコール」という。最近ではむしろ、**ッ**ンラケ鳥<sup>ク</sup>を射ち落とす音らしき**ッ**ピシュー<sup>ク</sup>が流行している。

3 ○○がエエガヤ

(名古屋弁の一種。「遊ぶのがエエガヤ」「それでエエガヤ」などと使う。)

4 ウダウダ(する)

「何をウダウダや<sup>ッ</sup>とる。」というように、「わけのわからぬい」状況を示す語らしい。

5 オット……

(相手にいたずらを仕掛けられた時などサツと身をかわし、ひとこと「オット<sup>ノ</sup>」などと使う。)

6 終わ<sup>ッ</sup>とる

(気分がめい<sup>ッ</sup>った時などに使う。たとえば、試験の点数が悪かった時に、「俺、終わ<sup>ッ</sup>とるわ」と使う。)

7 ど<sup>ッ</sup>ば

「終わ<sup>ッ</sup>とる」の類語。語源説は二つあり、「野壺にはまる」ということから身動きできない、あるいはみ<sup>ッ</sup>ともない状態をさすという説と、強意の接頭語「ど」に「壺」をつけて、落ち込む状態を表すという説がある。)

8 落ちこんどる

「終わ<sup>ッ</sup>とる」「ど<sup>ッ</sup>ば」の類語。気分がめい<sup>ッ</sup>っている時に使う。)

9 アホ<sup>ノ</sup>

(特別な意味はなく、ある生徒の「アホ」という言い方がおも

しろくてはやっていらしい。)

10 たまらん

(おもしろい時、苦しい時、絶望した時などいろいろな場合に用いられる。「たまらない」「耐えきれない」という意味。)

このように、どこでどう生まれてきたのかよくわからないことがやはり流行しており、生徒たちの日常生活の中に浸透しているのがよくわかる。しかも、最近の流行語の回転は早く、私のような若手の教師でさえも、「先生、遅れてるよ。」とからかわれる始末である。この事実を、国語教育に携わっている者として見過ごすわけにはいかない。こんな気持ちから流行語を取り入れた授業を思いつき、実践に踏み切ったわけである。

教材は岩淵悦太郎氏の「気になることは」であった。ここでは、マスコミにおける語法の誤りや最近の日本人の語法の誤解等について述べられており、この問題にからめて流行語等の身近な日本語の乱れを取り入れ、次のような指導案を立てて授業に臨んだ。

国語科(現代国語) 学習指導案

(1) 教材 現代国語 1 訂版(筑摩書房)

「気になることは」

岩淵悦太郎

(2) 単元目標

。我々が、日々使っていることばを、もう一度見つめ直してみる。

。事物や物と、ことばとの関係について考え、理解を深める。

(4) (3) 単に誤った日本語の善し悪しを考えるのではなく、正しい日本語は何なのかを追求し、認識を深める。  
 本時の位置 四時間中、二時間目  
 本時の学習目標  
 「マスコミとことば」という観点から、「ことばの乱れ」を考える。

(5) (4) 流行語の氾濫について考える。  
 (4) 外国語・外来語の氾濫について考える。  
 指導上の留意点  
 「ことばの乱れ」を身近な例から取り上げ、日本語を見つめ直してみる。

(6) OHP、テープを活用し、目と目で「ことば」をとらえてみる。  
 授業計画（四時間扱い）

<本時分>		時限	時限
2 時	1 時	1 教科書熟読	主な学習内容
2 1 流行語の分類	2 日本語は乱れているか	2 日本語は乱れているか	指導上の留意点
因 語の氾濫の原	3 原因は何か	3 原因は何か	準備・その他
活用	。身近なものから例を取り上げる。 OHP、テープの活用	。われわれを取り巻く環境がことばを乱れていることに気づかせ、「マスコミことば」に観点をしほる。	プリント配布
			① 1 (マスコミのことばの乱れ)
			② 2 OHP (六枚)
			③ 3 テープ (D・Jのことば)
			④ 4 (生徒のことば)

↓  
 本時分指導案参照

第4時限	第3時限
1 散語の乱れ	1 漢字の読み書きの乱れ
2 〃気になることばののま	2 追求の実際と原因
め	用語の乱れ
。具体例の提示	。具体例を示し、生徒に自分で考えさせる。
。正しいことばに目を向けることへの示唆	
プリント配布	プリント配布
⑥ 6 (高校生の敬語意識)	④ 4 (誤字による例)
⑦ 7 (演習プリント)	⑤ 5 (誤った日本語)

- ① 1 「日本語 2 言語生活」 (岩波書店) 南博氏「マスコミと日本語」より抜粋したもの
- ② 2 「クラス内の流行語ベストテン」 (一枚) 「流行語の分類」 (三枚)
- ③ 3. CBCラジオ「CBC 歌謡ベストテン」 (荒川戦一アナからの録音)
- 。生徒同士の会話の様子を録音したものの一部
- ④ 4・⑤ 5・⑥ 7 資料として別に掲載
- ⑧ 6 名古屋茂郎氏「国語教育の現場から」 (笠間書院) より抜粋したもの

第一学年三組	昭和五十四年十月十五日 (月曜) 第二時限	指導者
国語 (現代国語) 科学習指導案		久野 保 彰
題目 (主題)	目標 (本時分)	
現代国語 1 (筑摩書房)	。 「マスコミとことば」という観点から、「ことばの乱れ」を考える。	
「気になることば」 (岩波悦太郎)	(イ) 流行語の氾濫について考	
四時間扱い (二時間目)	える。	
	(ロ) 外国語・外来語の氾濫について考える。	

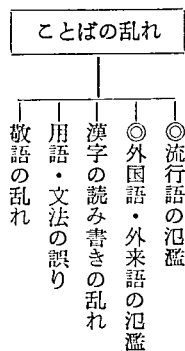


学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
▲導入▼ (10分)	1 前時の復習(マスコミのことは の乱れの分類) 2 具体例の提示(D・Jのことは) 3 本時の内容提示(流行語、外国 語・外来語の氾濫)	▼板書 ▼テープ使用
▲展開▼ (30分) (7分)	1 クラス内における流行語 2 生徒の会話におけることば 。おかしなことを使っていない いか。 3 流行語のできる原因は何か。 (純日本語型と非日本語型)	▼O・H・P使用 (三・四組の流 行語ベスト10) ▼テープ使用 ▼発問
(8分)	4 外国語・外来語の氾濫 。流行語の問題点は何か。 。氾濫の原因は何か。 。この現状をどう考えるか。 。また、われわれ日本人はどう 対処していったらよいか。	▼発問 ▼発問 ▼発問 ▼O・H・P使用 (歌謡曲のタイ トル) ▼発問
▲終結▼ (10分)	1 本時のまとめ(教科書の例と関 連づけて考える) 2 テープによって「気になること ば」をチェックする。 3 次時の予告(漢字の読み書きの 乱れ)	▼板書 ▼テープ使用 ▼プリント配布

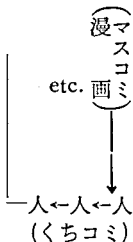
(この授業 のチェック ポイント)	①生徒はO・H・Pの例に興味を もったか。 ②生徒は、テープに興味をもった か。 「ことば」に対して、興味をも ったか。	(生徒の準備) 。教科書 。ノート 。前時に配布した プリント 。国語辞典
-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

▲板書計画▼

気になることば



(原因)  
環境



○流行語発生の原因

。おもしろいから

。知らない仲間はずれになるから

○流行語の分類

etc.

純日本語型

- (1) 印象型
- (2) 方言型

- (3) 低俗下品型

非日本語型

- (1) ダジャレ型
- (2) 擬音・擬声語型
- (3) 特殊接頭語・接尾語型

- (4) 新造語型 → 生命力強い

○外国語・外来語の氾濫

氾濫の背景

○外国語の方がかっこいい 外国へのあこがれ

西洋かぶれ

マスコミのねらい

○感覚的なもの、フィーリング

※外国語でないと、かっこうのつかないものもある。

絶対にいけないとは言いい切れない。

○「ことば」に対するわれわれの態度

○本当の意味を知ること

○常識を知ること

この授業計画の目的は、指導案の中に述べたとおりであるが、特に、

- 身近なものを取り上げて、生徒にことばに対する興味を持たせること
- 視覚・聴覚に訴える授業を展開すること

を念頭に置いてみた。「美しい日本語」「正しい日本語」を考

手立てとして、日常頻繁に用いられている「美しくない日本語」「正しくない日本語」を考えさせたかったわけである。

また、本校の研究授業とする目的もあったため、諸準備に約二ヶ月かかり、題材が題材だけに実践に至るまでいろいろ悩まされたし、内容を欲張りすぎた懸念もあった。しかし、最終的な結論として導き出させたかった、「単に日本語の乱れの善し悪しを考えるのではなく、正しい日本語の用法はどうかを考えなければならない。」ということとは、一応生徒にも納得がいったようである。のちの反省会では、

○ 内容が豊富すぎて、一時間での消化に無理な点があったこと。

○ 結論部に時間をかけて、もっと活発に討論させるべきであったこと。

が、やはり指摘された。

おわりに

現代国語は何を教える教科なのか、現代国語の力はどうしたらつくのか、こうした疑問を背負いながら、暗中模索のうちに私の教師生活も早や二年が過ぎ去ろうとしている。

本稿で述べた授業例は、「現代国語の授業はつまらない」という生徒のために用意したもので、先にも述べたように、国語の基礎力をいかにつけさせるか、何か奇抜な授業を展開できないか、という二つの観点から立案したものであり、この考えは、広告など身近なものを教材化されてすばらしい成果をあげておられる大村はま先生

この種の授業は、聞いている者にとっては、確かに一風変わっていてもおもしろいかもしれない。実際、一時間中笑いころげていた生徒もいた。しかし、笑っただけで一時間が過ぎてしまえば、それは授業ではなく寄席の漫談にすぎない。その中で、教師は押さえるべきポイントをしっかり押さえ、生徒もその授業の中で教師の意図をつかもうと必死に努力してこそ良い授業になっていくのだと思う。もちろん私もそれには十分留意しているつもりではあるが、こうした危険性をいつもはらんでいることは否定できない。次元の低い題材を取り上げなくとも、十分対処できる生徒を教えておられる先生方からすれば、なんとくだらない授業をやっているのかとお叱りを受けるかもしれないが、いくらすばらしい授業展開をしても、生徒が考えようとする態度を持たない限り、授業は成り立たないと私は考えている。いかに現代国語という科目に目を向けさせるか、おもしろくしかもわかりやすい授業を作り上げていくかに全力を尽くしたいと思っている。

生徒の実情に合わせて授業をするという苦勞は、私のみならず、多くの方々が経験されていることだと思ふ。私の少ない知識と拙ない指導力をフルに發揮して、創意工夫には心がけてはいるものの、なかなか現実には厳しいものだと痛感している。本稿を読んでいただいた先輩諸兄からのご指導ご助言を是非お願いして筆を置きたいと思ふ。

昭和五十五年三月

△主要参考文献▽

。岩波講座日本語2言語生活

「マスコミと日本語」(南博) 岩波書店

。現代用語の基礎知識・一九八〇年版

「若者用語の解説」(堀内克明) 自由国民社

。中等教育資料

「高等学校学習指導要領案」大日本図書

。国文学・第16巻2号

「情報化時代のことばと生活の手帖」學燈社

。国語教育の現場から」(名古屋茂郎) 笠間書院

(愛知県立豊明高等学校教諭)

△資料1▽ ④

誤字による倒錯例

(問題) 次の漢字を正しい漢字に直しなさい。

。疎遠になつてゐる友人への手紙……

「御無沙汰してあなたのお顔が見られなく

申し分ありません。」

。農家へ嫁いだ友人からの手紙……

「私は姑の健康を考え、毎日毒御飯を食べ

させています。」

。上司への年賀状……

「いつも大変なお世辞ばかりかけて……。」

。上京した友人からの手紙……

「俺は出家して今東京にいる。」

。高校を出て東京へ就職した姪からのはがき

。「これからは東京で嫁ぎまくるわ。」

- (分) ↓ ( )  
 (毒) ↓ ( )  
 (嫁) ↓ ( )  
 (辞) ↓ ( )  
 (出家) ↓ ( )  
 (嫁) ↓ ( )

。イタリア旅行中の友人からの手紙……

「この古い町はどこも尻でいっぱい……。」

肥満体の尻、可愛い尻が並んでいます。」

。骨折で入院中の友人への手紙……

「早く治るよう、折らせてくれ。」

。塾の生徒募集……

「塾の先生が生徒を募っています。」

。先生に出した同窓会の案内状……

「先生にも我々にも絶交のチャンスです。」

。出産祝ののし袋……

「御祝」

。手紙の宛名……

「〇〇禿一様」

。夫の実家へ出した妻の手紙……

「ハンカチがなかったので、おしりの下にティッシュを敷き……。」

(尻) ↓ ( )

(折) ↓ ( )

(募) ↓ ( )

(交) ↓ ( )

(御) ↓ ( )

(禿) ↓ ( )

(一) ↓ ( )

(週刊朝日三一三〇号—学習研究社「これまで体験した誤字、  
当て字の傑作集」より)

△資料2 V ⑤

誤った日本語の用法

(問題) おかしいと思う部分に傍線を引き、正しく書き換えなさい。

① ゆうべ見たテレビのドラマは、すごいおもしろかった。

② 九回の裏、相手のホームランで惜しくもサヨナラ負けをした。

③ 彼は何を考えているのかわからない人で、ぼくには、気のおけない人のように思われる。

④ 江川君は、きょうの試合に出れないそうです。

⑤ ようやく小春日和になって、草木も芽吹いてきた。

⑥ 私の兄と姉は、東京のアパートで同棲している。

⑦ 「お前は無能だ」と、彼は私を卑下した。

⑧ 私は病氣一つせず、全然元気です。

⑨ 彼は口数も少なく、たいへん謙遜な人柄です。

⑩ この間の台風で、わが家はたいへんな被害をこうむった。

⑪ 最近、気候がよくなったせいか、不思議とよく眠れる。

⑫ ヤクルト・スワローズは、球団創設以来29年ぶりに初優勝を果たした。

⑬ きょうの試合の敗因は、打線の不振に原因がある。

⑭ あの人には頭もいいし美人だ。一石二鳥とは、あの人のことを言うのだろう。

⑮ きこのの古典の試験で、二番の問題を完璧にまちがえてしまった。

⑯ あいつに絵がわかるわけないよ。見せたところで、ちようちんに「つりがね」さ。

⑰ 何から勉強しようかと、どうこうしているうちに、夜が明けてしまった。

△資料3 V ⑦

演習プリント

演習プリント

(問題) 敬語法からみて、おかしいと思う箇所に傍線を引き、正しく書き換えなさい。

(1) 先生、明日父にお目にかかっていただけませんか。(生徒↓先生)

(2) お尋ねいたします。小倉の山田さん、おりましたら駅長室までおいで下さい。(駅員↓客)

(3) 冬が来ました。いただくなら当店のあたたかいコーヒーをどうぞ。(宣伝・広告)

(4) 朝夕めっきり冷えますね。お変わりもいらっしやいませんか。(手紙のあいさつ文)

(5) 停車信号です。しばらくお待ちして下さい。(車掌↓客)

(6) 父ですか。まだお帰りになっておりません。(子ども↓電話の相手)

(7) 君の進学のことで、お父さんと話したいのだが。(先生↓生徒)

(8) みかんの皮は、くずかごにお入れするようにいたしましょう。(公園の係員↓客)

(9) どうぞあちらの方で、品物をいただいて下さい。(店員↓客)

(10) きこう先生が申されたとおり、宿題をやってきました。(生徒↓先生)

(11) 毎朝忘れずにカナリヤに水とえさをあげなさい。(主人↓お手伝いさん)

(12) 社長さんが病氣なので、専務さんがお代わりに出張しました。(社員↓客)

(13) お一人でもお気軽にご参加できるバス旅行。(宣伝・広告)

(14) 御面会でしたら、その受付でうかがってください。(病院の職員↓面会人)

(15) ほかのお客様のご迷惑いたしますから、もう少しお静かに願います。(店員↓客)

(16) 念のため、先方に電話をなさって行くほうが安全ですよ。(部下↓上司)

(17) 先生さま、いつもせがれが世話になっています。(父兄↓先生)

(18) おとうさん、そこのおぞうきん取ってくださいませんか。(子ども↓父)